体験活動の意味

野矢小学校では多くの体験活動をおこなっています。土づくりをおこない総合や生活科、理科、特別活動などの時間を活用し多くの草花を育てています。野菜でいえば、ニガウリ、キュウリ、カボチャ、トウモロコシ、落花生、ダイズ、スイカ、ジャガイモ、ピーマン、トマト、オクラなど、花ではホウセンカ、ニチニチソウ、マリーゴールド、サルビア、チューリップなどです。街で畑や花壇などが少ない学校では、鉢で一人1つの草花を育てるしかない学校も多いのではないかと思います。しかし、野矢小学校の児童のほとんどが栽培活動に多く取り組みます。

野矢小学校の児童のほとんどの家庭は、畑や田んぼがあり野菜などを育てているのではないかと思います。花植えをしているときにある児童が言っていたことが、心の中に残っています。それは、「家ではお手伝いはするけど、花を植えることはない。」ということです。考えて見ると私の家庭も農家でしたが、田植えをしたり、稲刈りをしたり、野菜の収穫をしたりすることは多くありました。しかし、1つの作物を最初から最後まで育てたり、花を植えたりした経験はなかったと思います。そう考えると、学校では、草花や野菜を自分で植えて水やりや草取りなどお世話をします。野菜は収穫して味わうこともできます。そういった経験をすることが学校における体験学習がもつ意味があると思いました。但し、成功体験を重視するあまり、失敗体験をさせないことが問題となります。水やりをしなければ、枯れたり、実ができなかったりするのは当然のことです。私自身の反省ですが、昨日もトマトがしおれていたので水をあげてしまいました。

ある先生の話で、「稲を育てる体験学習で、子どもがしたのは、田植えと稲刈りだけだった。ある子どもの感想には『お米を育てるのは簡単だ』というものがあった。途中で教員がおこなった管理作業は子どもたちには見えていなかった。失敗してもいいので、子どもたちにまかすべきである。」というものがありました。私たちも時間に追われて、日常の管理を子どもたちにさせていなかったり、教員がやってしまったりする現状があります。学校でもどこまで子どもたちにまかせるのかについて話しをしていきますので、家庭でも子ども自身が失敗しながら学んでいくことの大切と見守ることの大切さを考えてみて下さい。

※今年もプランターで花を育てて、独り暮らしの高齢者に持って行きたいと考えていますのでご協力をお願いします。 1 学期末の PTA でご説明をいたします。



令和5年度 6月16日 第 5号 校長 小幡英二



野矢小学校のホームページに写真など多くの情報を載せています。QRコードです。ご覧下さい。



















災害復旧と1学期のお礼

7月に行った行事等は現在、ホームページで少しずつ公開していますが、7月に入って「野矢っこだより」を発行できませんでした。その大きな理由として、7月中は、6月30日夜から7月1日の朝にかけてあった豪雨に対応することに時間を割かれていました。この豪雨により、体育館が床上浸水、校舎が床下浸水、プールと運動場に土砂が堆積しました。7月1日は、午後から保護者の方々に体育館の床上の土砂を撤去して頂きました。7月2日は、終日、野矢と野上の消防団、教育委員会の方々に、運動場と校舎周辺の土砂の撤去をして頂きました。また、堀田水道組合に皆さんのお陰で飲み水の確保もできました。7月13日、14日は教育委員会を始めとして役場職員の方々にプールの土砂撤去と清掃をして頂きました。その結果、プール以外は使用できる状態になっています。プールはろ過器の一部に修理が必要ですので、業者の方が修理に入るようになっています。今後は、体育館の床の処理と床下の泥撤去と掃除、校舎床下の泥撤去と清掃を業者にして頂くといった方向で教育委員会と協議しています。

今回の災害を受け、感じたことは防災教育と同時に減災するための方法も 考える必要があるということです。学校の場合は、被災してもできるだけ早 くに日常生活を取り戻すことが大切です。学習の場を保障することが重要で す。減災や災害からの復旧について今後、教育委員会と協議したいと思いま す。

今回は多くの方のご協力で早期復旧を行うことが出来ました。しかし、次回もそうできるとは限りません。子どもたちの防災意識を高めようと、1学期末のPTAでは通学路に関わる防災マップつくりを保護者の皆さんと取り組みました。学校では今後も防災教育の在り方について検討をしていきたいと思います。

1 学期は何とか多くの学校行事を無事に終わらせることが出来ました。また、多くの方にボランティア、ゲストティーチャーとして学校運営にご協力を頂きました。心から感謝を申し上げます。子どもたちにも、保護者や地域の方々の姿勢や思いをくみ取ることができるようにお話をしていきたいと思います。 2 学期からも学校教育にご理解とご協力をお願いします。















令和5年度 8月6日 第6号 校長 小幡英二



野矢小学校のホームページに写真など多くの情報を載せています。QRコードです。ご覧下さい。

お礼

7催校す会を変ざく月た 7月した地たのののに多りは 7野がのののしたのでは 日矢がのののした。 日子がのののした。 日子がのののたら は号して はっていまがした。 はっていまがした。 はっていまがです。

